



「デジたんQ」^{キュー} 発刊までの道のり

社会の授業で使う「社会科資料集」。分厚いこの教材には、社会科の学習で使うたくさんの資料が掲載されています。「小学生のとき、資料集を見るのが好きでした」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

「インターネット」があれば「資料集」はいらない？

この「社会科資料集」ですが、小学校でのタブレット端末の導入に伴い、「インターネットで検索すれば最新の情報を得られるから資料集は必要ない」という声も聞くようになりました。

確かに、インターネットには最新の情報がたくさんあり、児童が簡単に検索して調べることができます。一方で、正しい情報や、学習内容に合った資料を探し出すのが難しいという課題もあると言われています。

文溪堂は、こういったさまざまな声を受け、今後も学校現場で社会科資料集を使っていただくためには、タブレット端末の活用にもつながる新たな価値をもった教材が必要であると考えました。

「紙」と「デジタル」のいいとこ取り！

そこで、デジタルを活用し、どの先生や児童にも使いやすく、今求められている「協働的な学び」や「個別最適な学び」に対応した教材を開発しました。

それが、紙とデジタルそれぞれの良いところを生かした教材「デジたんQ」です。



紙

Good!



デジタル



紙

の特性を生かす



① 横長の形態で、タブレットと「デジたんQ」を机上で広げてもすっきり収まるサイズ。

② 紙面は、単元の導入場面で活用できるような資料に絞って掲載し、複数の資料を並べて比較しやすくするなどの工夫をすることで、学習のめあてや見通しをつかみ、その後の学習を進められるようにしています。



デジタル

の特性を生かす



① デジタルで提供する資料点数は1,000点以上！
紙の資料集よりもたくさんの資料をデジタルで提供しています。
必要な学習資料が揃っているので、先生の授業準備の負担が軽減されます。

② 資料を項目ごとに分けて一覧で表示しているので、児童が調べたいテーマに沿った資料を自ら選択しやすく、スムーズに個別学習ができます。

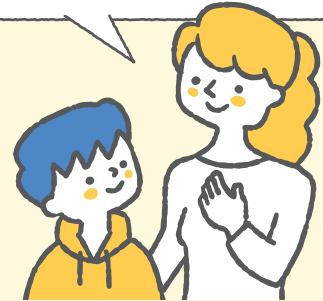


③ 資料の拡大表示や詳しい解説、音声再生機能やグラフの項目別表示機能といったデジタルならではの機能が満載で、ユニバーサルデザインにも対応。
書き込み・保存機能も搭載し、資料の読み取り・まとめ学習に便利です。



お使いいただいている
先生の声

一般的な社会科資料集はボリュームが多すぎて使いきれなかったもので、**厚みの薄い「デジたんQ」**に興味を持ちました。文字が多いと苦手意識を持ってしまう子どもが多いので、**ビジュアル重視で資料を大きく見せている**ところが良いです。



資料が厳選されていて、**見やすく使いやすい**です。従来の社会科資料集よりも、**使用する機会が多くなった**気がします。従来の資料集は、細かくてどこを見るのか指示するのも大変でしたが、「デジたんQ」はその点も使いやすいです。

私のクラスでは、社会科はノートを使わず、タブレット端末でまとめさせているので、**タブレット一台でも授業が成立する**のが決め手となり採用しました。**社会が得意な子どもはデジタルサイト、不得手な子どもは冊子**を中心に使っています。**子どもの学力に応じて使い方が選べる**のが良いですね。

子どもたちに調べさせる探究型の学習スタイルと「デジたんQ」の形態が合致していると思います。

紙の資料を導入に使い、デジタル資料を調べ学習に使っています。最初はデジタルに慣れない子もいましたが、**タブレットに触れるだけで喜ぶ子**もいるので、今は子どもたちも楽しく使っています。

各社の社会科資料集を見比べて、「デジたんQ」の「**資料の見やすさ(大きさ)**」「**ページの薄さ**」が決め手となり、採用しました。資料が厳選されているおかげで、**子どもの気づきや問いが生まれやすい**です。これまでの資料集に比べ、**開いたまま置きやすい**点も良いですね。



文溪堂は
選べる2種類の社会科資料集で
子どもたちの学びを支えます

▶「デジたんQ」の使い方

https://www.bunkei.co.jp/digitaiken/digitanq_vtr.html

